

# みちしるべ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



◆平成29年度決算認定  
事業の成果や執行状況を慎重審議 P2

◆常任委員会  
4つの委員会を開催しました P10

◆一般質問  
市政のここが聞きたい P14

7月臨時会  
9月定例会

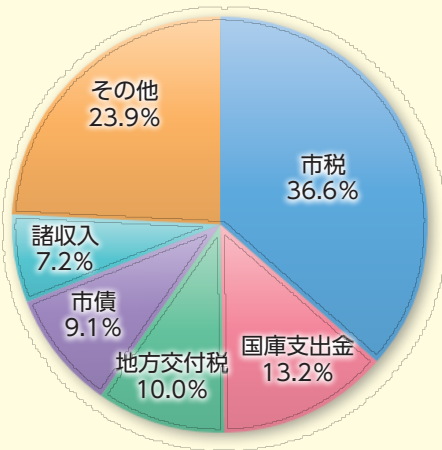
▲やまがた市議会報「みちしるべ」を活用した授業の様子（山形大学附属中学校2年生）  
※内容については、11ページをご覧ください



# 事業の成果や執行状況を慎重審議

まちのにぎわいづくりや総合的な子育て環境の整備など  
山形市発展に向けた重点施策を推進

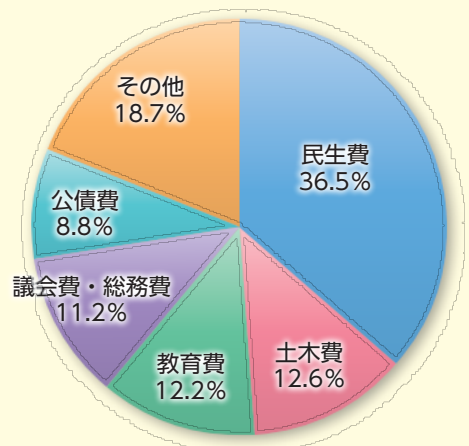
**一般会計歳入  
981億5,502万円**



- ①市税 ..... 358億7,496万円  
(個人・法人市民税、固定資産税などの税収入)
- ②国庫支出金 ..... 129億3,980万円  
(国が自治体の行う特定の事業経費の全部または一部を負担するお金)
- ③地方交付税 ..... 98億2,337万円  
(市町村の財政力に応じて国から交付されるお金)
- ④市債 ..... 89億3,700万円  
(長期間使われる公共施設の整備などにかかる借入金)
- ⑤諸収入 ..... 70億6,564万円  
(預金利子や各種貸付金の元利収入など)
- ⑥その他 ..... 235億1,425万円  
(県支出金、地方譲与税・交付金、使用料および手数料など)

- ①民生費 ..... 350億2,502万円  
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)
- ②土木費 ..... 120億4,250万円  
(公園や道路・街路の整備、市営住宅の建設などの経費)
- ③教育費 ..... 117億2,787万円  
(学校の建設・改修、生涯学習、スポーツ振興などの経費)
- ④議会費・総務費 ..... 107億6,584万円  
(議会の運営、広報、地域づくりの支援などの経費)
- ⑤公債費 ..... 84億2,522万円  
(市債の返還にかかる経費。うち利子分約8億864万円を含む。)
- ⑥その他 ..... 179億3,269万円  
(衛生費、労働費、農林水産業費、商工費など)

**一般会計歳出  
959億1,914万円**



# 平成29年度の決算を認定



▲平成29年度建て替えの樫沢コミュニティセンター

**委員** 県で行われている業務が市に移譲されることで、職員が専門性がさらに問われてくるが、今後の採用方針はどうか。

**職員課長** 獣医師などの採用困難職種を含め、必要な人員を確保するため採用を行っている。

中核市への移行に向けて移譲事務の精査・検討や職員の確保、市民への積極的な周知・PR活動などを行いました。

**中核市推進事業**  
1億1601万円

決算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

**広報課長** 新耐震基準を満たしていない昭和56年以前に建設されたコミュニティセンターは、山形市コミュニティセンター整備基本方針に基づき、平成33年までにすべての建て替えを完了する予定である。その後は、山形市コミュニティセンター施設整備計画に基づき、長寿命化を図ることとなるが、必要な機能についても計画の中で検討していきたい。

**委員** コミュニティセンターは、新しい建物と古い建物で、トイレや調理室などの設備機能の格差が大きくなっている。今後の改修や地域の要望を、どのように考えているのか。

山形市コミュニティセンター整備基本方針に基づき、コミュニティセンターの工事や設計などを行いました。

**コミュニティセンター建設事業**  
3億6759万円

いる。専門性のある職員は、今後の職員の退職動向を踏まえながら採用していくとともに、新卒者のみならず、経験者を採用する方法も含めて検討していく。

## 健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また、参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
山形市	なし (△3.32%)	なし (△22.40%)	8.3%	88.2%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。なお、参考として、黒字の比率を（ ）に「△」で表示しています。

		資金不足比率	経営健全化基準	市債および企業債残高(平成29年度末現在)
一般会計	介護保険事業会計			976億4,561万円
	区画整理事業会計			28億4,215万円
特別会計	駐車場事業会計			2,160万円
	公設地方卸売市場事業会計	なし (△ 9.2%)	20.0%	4億2,633万円
	農業集落排水事業会計	なし (△ 8.6%)		11億7,329万円
水道事業会計	なし (△76.4%)	173億2,938万円		
企業会計	公共下水道事業会計	なし (△16.7%)		899億9,908万円
	市立病院済生館事業会計	なし (△34.3%)		38億4,871万円
合計				2,132億8,615万円

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。なお、参考として、資金剰余の比率を（ ）に「△」で表示しています。

文化創造都市推進事業  
837万円

映像文化を基軸に、多彩で豊富な文化・地域資産を活用し、文化創造都市の推進を図りました。

**委員** 創造都市間同士の関係性をどう考えているのか。

**文化振興課長** 平成29年のユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定を受け、**これからがスタートと認識**している。30年9月に開催するやまがた創造都市国際会議で、国外からゲストを迎えるなど、**できることから少しずつ行っていく**。

公衆街路灯助成事業  
6582万円

町内会などが維持管理している公衆街路灯の電気料補助や、LED化に対して支援を行いました。

**委員** 年度の途中に公衆街路灯の新設希望があった場合にも対応すべきではないか。

**広報課長** 前年度に町内会へニーズ調査を行い、翌年度に予算化している。当該年度の要望は、規制緩和に基づく開発などが考えられるため、**まちづくり推進部と情報交換を行い、対応を検討していく**。



▲平成30年9月開催のやまがた創造都市国際会議

仙山圏交通網整備事業  
302万円

仙山圏交通網の整備調査に関する補足調査や、関係団体と仙山線に関する勉強会などを実施しました。

**委員** 仙山線に関する勉強会を受け、今後の進め方をどのように考えているのか。

企画調整部長 短期間でできる取り組みと、中長期的な視野で検討していくべきものがある。年次スケジュールも入れて練り直し、**利用促進、利便性向上のプロジェクト方針**をまとめていきたい。

子育て支援ネットワーク事業  
1億7356万円

民間立子育て支援センターにおける育児講座や、体験保育などの子育て支援事業に補助金を交付しました。

**委員** 施設の利用状況や相談件数にばらつきがあるが、理由は何か。

**こども保育課長** 立地条件や運営方法に違いがあるためと思われる。連絡会を通して利用促進を図っていきたい。

高齢者外出支援事業  
1億2679万円

山交バス株式会社が販売するシルバースカ月定期券を購入する高齢者に、一定額を補助しました。

**委員** 広範囲の乗り放題では



▲利用促進、利便性向上を目指す仙山線

地域協議会を開催しているが、その成果はどうか。

**障がい福祉課長** 平成29年度から、障がい者の方や不動産、交通関係者などからも参画してもらい、**委員を11人から28人に増員**し運営しており、実際に相談があった**差別事例の課題を共有し、改善**につなげている。

自立支援給付事業  
30億326万円

障がいのある人に介護サービスや機能訓練・福祉的就労などのサービスの提供や、補装具購入費の支給を行いました。

障がい者理由とする差別解消推進事業  
220万円

障がいのある人の権利擁護と差別解消に向けた周知・啓発などを行いました。

**委員** 障がい者差別解消支援

**委員** 障がい者の雇用促進に向けて、どのようなことを行っているのか。

**障がい福祉課長** 就労移行支援や就労継続支援などのサービスを提供するほか、障がい者自立支援協議会において、**障がい者雇用の働きかけや意見交換**を行っている。



▲遊びと生活の場を提供する放課後児童クラブ

**放課後児童健全育成事業**  
7億790万円

留守家庭などの児童へ放課後や夏休みなどにおける遊びと生活の場を提供し、健全育成を図りました。

**委員** 需要が増え、条例基準に適合していない放課後児童クラブも多い。今後どのように取り組んでいくのか。

**こども福祉課長** 平成26年の条例制定時に想定した登録児童数よりも大幅に増えており、施設を増設しても追いついていない状況である。条例の経過措置期間が31年度末である

ため、クラブ側の意見を聞きながら対応を検討している。

**住民票の写し等証明書コンビニ交付事業**  
10001万円

個人番号カードを利用し、全国のコンビニエンスストアで住民票の写しなどの証明書を取得できる交付サービスを実施しました。

**委員** コストに対する利便性をどのように捉えているのか。

**市民課長** 利用件数は年々増えており、個人番号カード取得者が増えることでさらに利用者が増えるため、個人番号カードの取得と併せて利便性をPRしていく。

**子どもの学習支援事業及び健康管理支援事業**  
435万円

生活保護受給世帯などで希望する中学生への学習支援や、健康指導が必要な受給者に健康管理支援を行いました。

**委員** 医師指導などの

支援をした方への、その後のフォローはどうか。

**生活福祉課長** 医療機関の受診で、入院や施設入所につながった方もいた。通院後も定期訪問による見守りや適切な指導を行っている。

**学校給食センター運営管理業務**  
10億884万円

学校給食センターの運営や衛生管理、献立の作成などをを行いました。

**委員** まかない材料費の不用額は、児童生徒数が、当初の見込みよりも少なかったことによる、との説明があったが、各小・中学校では次年度に入学する児童生徒の数を把握している。これほどの誤差が生じたのはなぜか。

**学校給食センター所長** 児童生徒数は、減少傾向が続いている。実際に平成29年度に入り、当初見込んでいた人数と比べて、少し減少していたというところである。精査できなかった部分はあるが、**転勤などによる異動**もあるため、誤差の範囲内ではないかと考えている。

## 平成29年度 決算監査意見書要旨

### 一般・特別

一般会計の歳入において、前年度に比べ繰入金、寄附金などが増加し、財産収入、市債などが減少している。個人市民税は雇用などの改善が継続し、法人市民税は企業活動が堅調であることから、税収の増が期待される。市税収入の確保とともに受益者負担金の適正化や財産の有効活用を図るなど、一層の歳入確保に取り組まれない。一方、歳出においては、前年度に比べ土木費、民生費、などが増加し、消防費、教育費などが減少している。学校施設など大規模施設整備費用の増加が見込まれることから、中核市移行に伴う新たな行政需要が求められることから、より効果的で効率的な行政運営を推進されたい。

### 済生館

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度より改善しており、経営努力の成果がうかがえる。済生館は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、地域の医療機関等と連携強化を図りながら、質の高い医療の提供に取り組まれている。平成30年度は「済生館3カ年計画」の最終年度となるが、諸施策の着実な実現に向けて、引き続き努力されたい。あわせて、自治体病院の使命を踏まえながら経営の効率化を図り、健全な病院運営に取り組まれるよう要望する。

### 水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べおおむね改善されている。耐震化を含めた、耐用年数を迎える配水管や浄水施設設備更新等に係る建設改良事業の推進が引き続き予定されており、今後とも費用の節減に取り組まれるとともに、施設規模や稼働状況の適正化等を図り、一層の経営の効率化に努められたい。安全で安定した水供給を図るため、施設の耐震化や主要3水系間の水融通バックアップ体制の強化、最上川中部水道企業団との連絡管整備等に取り組まれているが、「山形市上下水道事業基本計画（後期計画）」の着実な実現に向け、引き続き効率的な事業経営に取り組まれない。

### 公共下水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べポイント数の増減はあるものの、大きな変動はないが、企業債に依存する割合が比較的高いことがうかがえる。平成30年度から下水道使用料等徴収業務を含めた上下水道営業等包括委託を開始しているが、受益者負担の公平性を確保するため、より効果的、効率的な未収金対策となるよう努められたい。近年の集中豪雨の多発化に備え雨水管渠整備を図ることにより災害に強い下水道を構築していく必要がある。「山形市上下水道事業基本計画（後期計画）」の着実な実現に向けて、効率的な事業経営に取り組まれない。

労働力確保推進事業

862万円

首都圏での合同企業説明会の開催や求人情報サイトの運営などにより、市内企業への就職などの促進を図りました。

**委員** 事業の成果はどうか。

**雇用創出課長** 首都圏の学生向けに東京都で合同企業説明会を開催し、2日間で269名の参加があった。また、平成29年度は参加者134名のうち7名が、28年度は105名のうち25名が、市内への就職に結びついている。



▲有害鳥獣捕獲のための、わなを設置する実施隊

有害鳥獣等食害対策事業

2539万円

有害鳥獣などによる農作物の被害防止のため、防護網などの設置や、鳥獣被害対策実施隊による捕獲などを行いました。

**委員** 有害鳥獣の捕獲頭数126頭の内訳はどうか。

**農村整備課長** サルが55頭、イノシシが71頭である。

**委員** 平成28年度に比べてイノシシの捕獲頭数は増えているが、現在も被害が多い状況である。対策は十分と考えているのか。

**農村整備課長** イノシシなどによる被害があった箇所などは現場確認を行っており、29年度は142件、30年度は8月末現在で120件となっている。29年度から鳥獣被害対策実施隊を立ち上げ、捕獲体制の強化を図ったことで捕獲頭数も増えていることから、一定の成果は上げられたものと考えている。

観光公衆施設整備事業

400万円

蔵王温泉バスターミナルのトイレ改修工事に補助を行いました。

**委員** どのような改修が行われたのか。

**観光戦略課長** バス会社が行うトイレ改修工事に対し、県の補助規定に沿って県と市で補助を行った。男子トイレの小便器を一つ減らし、そのスペースを女子トイレ一つの増設に充て、男女とも洋式化するなどの改修を行った。

体育施設の維持管理及び整備事業

4億8755万円

市民生活に密着したスポーツ活動の場として、適切な施設の維持管理を行いました。

**委員** 用具の購入や更新など、さまざまな競技団体から多くの要望があると思うが、予算が足りないのではないのか。

**スポーツ保健課長** 各競技団体からのすべての要望には応えられない状況である。安全

面や新たに大きな大会を開催する場合などを優先し、理解を得ながら進めている。

市道橋梁維持補修事業

5億1588万円

橋梁の補修工事と補修設計委託などを行いました。

**委員** 事業の進展状況や、地元業者との関わりはどうか。

**道路維持課長** 平成29年度は、

9橋の補修工事を実施している。施工時に想定外の損傷が発見されることが多く、計画通りに進まない状況であるが、今後も、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、事業を進めている。

く。また、橋梁の補修工事は特殊な工法はなく、ほとんどを地元の業者で行っている。

空き家等対策推進事業

81万円

空き家などへの対策を総合的かつ計画的に推進するため、山形市空家等対策計画の策定などを行いました。

**委員** 放置空き家などの危険

家屋の状況はどうか。  
**管理住宅課長** 情報提供が延べ149件あり、うち適正な管理を促す文書を送付したのが73件、その中で連絡が取れたものは45件であった。



▲補修工事を実施した二本堂橋



▲アンダーパスでの水没事故を防止するエア―遮断機

**アンダーパス安全対策事業**  
904万円

アンダーパスの冠水による車両の水没事故を防止するため、車両自動遮断機の整備を行いました。

**委員** 設置したエア―遮断機とは、どのようなものか。

**道路維持課長** 集中豪雨などで、アンダーパスの排水が間に合わない場合に、一定の水深を感知すると、アンダーパス手前の遮断機が自動的に押し出され通行を遮断するものである。今後は、山形駅南アンダーに設置していく。

**住宅リフォーム総合支援事業**  
1億2866万円

市内の施行業者を利用して住宅などをリフォームする方に、補助を行いました。

**委員** 事業の今後の対応はどうか。また、塀の修繕だけではなく、撤去にも補助をすべきではないか。

**建築指導課長** 市民や業界団体からも、要望があることから、継続して取り組んでいきたい。塀については、築造・修繕に補助をしているが、撤去の補助も検討していく。

**太陽光発電装置設置補助事業**  
2639万円

住宅や事業所に、太陽光発電装置を設置する際の費用の一部を助成しました。

**委員** 今後、廃棄物として太陽光パネルの増加が見込まれるが、対策は考えているのか。  
**環境課長** 国でも2030年以降増加すると

見込んでおり、リサイクルなど、廃棄物を減らす対策を検討しているため、今後の動向を注視していく。

**病院事業**

**委員** 2年続けて赤字決算となった要因をどう認識し、どのような対応策をとっているのか。

**済生館管理課長** 平成26年度から診療報酬のマイナス改定が続いていることが挙げられる。医療の質を高め、診療報酬の加算対象となる医療機器確保などの対応を進めている。また、24年度から老朽化した空調や消防設備など、さまざまな設備改修を行ったことにより増加していた減価償却費が、30年度から減少していく見込みである。

**公設地方卸売市場事業会計**

**委員** 取扱量や売上高が年々減少しているが、どのように考えているのか。

**市場管理事務所長** 人口減少や市場を通さない取引の増加などが要因で、取引高などが年々減少している状況である。

平成30年6月の卸売市場法改正により、卸売市場の自由度が増すことになったことから、市場内事業者とも協議しながら、市場の活性化策などを考えていく。

**農業集落排水事業会計**

**委員** 現在8カ所の処理施設が利用されているが、更新などはどのように考えているのか。

**農村整備課長** 現在、劣化状況などの調査を進めている。維持管理費の試算など、調査結果を基に、更新などを検討していくことになる。

**水道事業会計**

**委員** 未収金の状況はどうか。  
**営業課長** 給水収益を除く未収金は、平成30年4月に全て回収している。給水収益未収金の収納率は、平成29年度3月末で96・4%、1年後には99・94%程度となる見込みである。

**公共下水道事業会計**

**委員** 下水道管渠の耐震化の進展状況はどうか。  
**下水道建設課長** 汚水管の耐震化率は32・4%で、雨水管の耐震化率は41・7%である。

**12月定例会の日程 (予定)**

11月29日(木)  
～12月18日(火)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

市民の生活環境のさらなる向上と  
児童の安全・健康を守る補正予算を審査

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

中核市移行記念式典  
開催事業 127万円

中核市への移行予定日である平成31年4月1日に、記念式典を行います。

委員 公募する参加者の人数

や公募方法はどうか。

中核市推進課長 参加者を最大800人と想定しており、うち公募は、現時点で500人程と考えている。年明けに、広報やまがたやホームページ、フェイスブックで公募を行っていききたい。

委員 PR動画は、どのように発信するのか。

中核市推進課長 4月1日の式典で上映した後、市のホームページに一定期間掲載する。

9月の主な補正予算  
一般会計 12億6,870万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 道路維持補修経費 ..... 1億7,000万円
- 小学校空調設備改修事業 ..... 9,417万円
- 道路ストック修繕事業（舗装修繕） ..... 7,683万円
- 民間立保育所施設整備事業費補助金（木の実西部保育園） ..... 2,722万円
- 放課後児童クラブ整備事業（第3どんぐりクラブ） ..... 1,100万円
- 中核市移行記念式典開催事業 ..... 127万円

国民健康保険事業会計  
2294万円

高額療養費制度の変更に  
対応するため、電算システム  
の改修を行います。

委員 システム改修の委託先  
をどのように考えているのか。

また、どのようなスケジュールで改修を行っていくのか。  
国民健康保険課長 委託先は、現在、基幹システムの契約を締結している事業者になる。また、今後のスケジュールは、予算の議決後、追加契約を行い、平成30年11月末までにシステムを完成させ、30年12月に高額療養費の勤奨通知や証明書などの発行を開始する予定である。

委員 システム改修に掛かる  
費用は、他市と比較してどうか。

国民健康保険課長 このたびのシステム改修に掛かる費用を他市と比較した場合、**相対的に見ると高いほう**ではあるが、システムの構築と維持に関しては、さまざまな契約形態があることから、一概に比較することはできない状況である。

小学校空調設備  
改修事業  
9417万円

市内小学校への空調設備の早期整備に向けて、実施設計を行います。

委員 工期はどのよう  
に想定しているのか。

教委管理課長 実施設計に約4カ月を想定しており、平成31年2月中旬までに実施設計の完了を目指している。また、実質的に工事に入れるのは、早くても31年4月からと考えており、**31年7月頃をめどに工事完了**を目指している。

委員 工事の順番はどうなる  
のか。また、どのように順番を決めるのか。

教委管理課長 今夏の猛暑への対応として、国では環境改善という位置付けから、安全対策に格上げされている。そのような状況を踏まえ、国の交付金の採択状況もあるが、**順番という形ではなく、一斉に整備を進め、できるだけ早期の完成**を目指していきたいと考えている。

「山寺と紅花」推進協議会  
負担金 30万円

山寺と紅花の歴史と文化が日本遺産に認定されたことに伴い、設立された「山寺と紅花」推進協議会に負担金を支出します。

委員 「山寺と紅花」推進協議会はどこに設置されているのか。また、メンバー構成はどのようになっているのか。  
社会教育青少年課長 事務局は**県の文化財・生涯学習課**に置かれている。また、委員は**県知事を会長**とし、**各首長が副会長**となっており、県・各



▲山寺などの魅力を国内外に発信





▲生活環境のさらなる向上を図る市道の舗装工事

**委員** 随意契約により工事を実施する場合は、地域に貢献している地元業者への配慮があっても良いのではないかと、**道路維持課長** 地域案件や災害時には、地域を熟知している地元業者を優先して発注している。

地域の方と相談しながら、緊急性が高いものから優先的に実施している。

市町の観光協会会長や山寺立石寺の住職、県紅花生産組合連合会会長などにより構成されている。

**委員** 県で、国庫補助を活用した情報発信や普及啓発などを、日本遺産魅力発信推進事業として展開していくが、「山寺と紅花」推進協議会は、どのように関わっていくのか。

**社会教育青少年課長** 「山寺と紅花」推進協議会では、それぞれの構成文化財の活用・磨き上げを行うこととし、**構成文化財の整備や情報発信**を行いながらパワーアップを図り、広く国内外に発信していくこととしている。

**委員** 各町内会や地域住民からの側溝整備に関する要望はどのくらいあるのか。また、全ての要望を実施した場合、どのくらいの費用が掛かるのか。

**道路維持課長** 各地区からの要望件数は約650件で、要望内容を全て実施した場合、約29億円を要すると試算している。要望案件に対しては、

生活環境のさらなる向上に向けて、市道の舗装と側溝の補修を行います。

道路の維持補修に要する経費 2億4683万円

## 議場見学会&演奏会にご参加ください

市議会を身近に感じていただくため、市議会のしくみの説明や本会議場・議長室などの見学会のほか、会派控室などの絵画や美術品などの展示を行います。

また、本会議場内において山形交響楽団による演奏会（弦楽四重奏（予定））を開催しますので、ぜひご参加ください。



▲平成29年度に開催した演奏会の様子

期 日：平成30年12月25日（火）

時 間：午後2時～3時30分

対象者：山形市に在住または通勤・通学する方  
（小学生以上）100名

### 《申し込み方法》

はがきまたはメールにて、右枠内の必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。11月22日（木）必着  
（※電話による申し込みは取り扱いいたしません。）

なお、応募多数の場合は抽選となります。

応募締め切り後、抽選結果と当日の詳しいご案内を送付いたします。

### 《申し込み・お問い合わせ先》

山形市議会事務局総務課  
TEL 023-641-1212 内線705  
〒990-8540 山形市旅籠町2丁目3-25  
E-mail gikaisomu@city.yamagata-yamagata.lg.jp

### 【申し込み必要事項】

#### ◎必須事項

- ①郵便番号・住所 ②氏名 ③年齢
- ④電話番号（日中に連絡がとれるもの）

#### ◎該当する方のみ

- ⑤複数での申し込みの場合（1申し込み5名まで）
  - ・ご自身を含め、全員の氏名・年齢
- ⑥身体などの事情により配慮を必要とする場合
  - ・必要な配慮について具体的にお知らせください。（車いすの利用など）

（応募によって得た個人情報、本募集に関する以外に使用しません。）

総務 厚生

産業文教 環境建設

## 4つの委員会を開催しました



▲企業立地が進む山形中央インター産業団地

**財政部長** 今回の法改正は、主に都市部からの企業立地を国と地方が連携して後押しをしようとするものである。固定資産税は自治体の貴重な財源であり、減税して交付税を補充することは、本来の方法ではないと考えていることから、東北都市税務協議会などを通して、**期間の延長や新たな制度を設けることがないよう要望**している。

**委員** 企業が本社機能の移転や拡充をしようとする施設整備計画の認定期限が、2年間延長されるとのことだが、市にとって、どのような効果があるのか。

**資産税課長** 企業立地を後押しする上で効果があると考えている。現在、拡充型事業で、山形中央インター産業団地の

企業の本社機能を移転・拡充する事業に係る固定資産税の特例措置を拡充

税金

1社が該当しており、新たに平成30年6月に1社が認定を受けている。移転型事業は、東京23区からの本社機能の移転が対象のため難しいが、他からの移転は考えられる。認定を受ける要件として、新規採用などの雇用の拡充もあり、**税収面だけでなく、人口増や経済波及効果**もあると考えている。

**委員** 固定資産税は、地方自治体にとって固有の財源である。企業立地などの国の施策については、地方交付税の措置があるから良いということではなく、**国側が企業に対し、別の優遇措置を図るべきと考**えるがどうか。

病院

済生館診療科目の名称を一部変更

**委員** 診療科目の名称変更に合わせて、**歯科口腔外科の「腔」の文字にもふりがなを振ること**のことだが、これまで問題はなかったのか。

**済生館管理課長** 条例として**問題はなかった**が、他の条例において、常用漢字でないものには、ふりがなを振るという取り扱いをしているため、今回の改正に合わせて、同様の取り扱いをするものである。

まちづくり

接道規制の緩和に伴う認定申請手数料と仮設建築物の存続期間延長に伴う許可申請手数料を新設

**委員** 接道規制の緩和に伴う認定申請手数料を新設することだが、既に定められている申請手数料の3万3000円と、今回新設される2万7000円の違いは何か。

**建築指導課長** これまでは、申請があった場合、すべて建築審査会の同意を得た上で許可していたが、このたびの建



▲診療科目の名称変更で診療機能の明確化を図る済生館

建築基準法の改正で、幅員が4メートル以上の農道などにのみ接する一定規模以下の住宅を建築する場合、**建築審査会の同意を得る必要がなくなる**ものである。

**委員** このたびの改正により、接道規制が緩和される一定規模以下の住宅の要件は、どのようなものか。

**建築指導課長** 一戸建ての住宅で、**200平方メートル以下**のものである。

**委員** 接道規制を緩和することにより、どの程度の申請件数を見込んでいるのか。

**建築指導課長** 農道などにおいて、許可を得て建築することができるのは、集落連たん地になることから、**1年に1件**あるかどうか、という状況である。

**委員** 1年を超える仮設建築物とは、具体的にどのようなものを想定しているのか。

**建築指導課長** **東京オリンピックや国際大会などに要する施設**を想定した法改正である。本市では、今のところ具体的な大会などの予定はないが、申請が必要となる場合に備え、改正するものである。

**中核市移行検討  
特別委員会**

平成31年4月に予定している中核市移行に向けて調査、研究を行いました。

委員会では、当局から、中核市移行の申し出に必要な手続きが完了したこと、30年8月7日に総務大臣に対し、法定手続きの最終段階となる「中核市指定を求める申出」を行った旨の報告がありました。また、中核市移行に係る現在の進捗状況と、移行に伴う市の事業効果を高める施策（独自性）の検討状況について、担当各課から報告があり

ました。

その後、報告に対し委員から、中核市移行に伴うメリットは、独自性の発揮や各分野との連携による行政サービスの提供であると思うが、今後、どのように取り組んでいくのか、との発言があり、当局から、中核市移行により、県からの移譲事務は2400余りであることから、行政力は向上するものと考えている。各種施策の連携により、事業効果が高まるよう、日々見直しを行いながら、より良い行政サービスの提供を行っていきたい、との説明がありました。

**市民の皆さまのご理解をお願いします**

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。違反すると罰せられます。有権者が寄付を求めるとも禁止されています。

**年賀状などのあいさつ状は禁止されています！**

議員は選挙区内の人に対して、自筆による答礼を除き、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。



**議員への寄付の勧誘や要求はできません！**

議員に対して寄付を出すように勧誘や要求をしたり、議員名義の寄付を求めることは禁止されています。

**みちしるべが授業で活用されました！**

山形大学附属中学校2年生の総合学習の授業で、やまがた市議会報「みちしるべ」が活用されました。

この授業は、これまでに発行した市議会報や他の広報紙などから、山形県内の直面している課題を捉え、その背景やこれまでの対応などを調べ、解決策を提案する学習で、今後は「平均初婚年齢の上昇」「少年非行の増加」「若者の地域離れ」などを課題として学習を進めていくとのことでした。

本市議会では、今後も、よりわかりやすく、市民の皆さまに親んでもらえる議会報の作成に努めてまいります。

山形大学附属中学校2年生の皆さん、ありがとうございました。



7月臨時会を7月19日に開催しました。  
臨時会では、小型動力ポンプ付積載車の購入、少年自然の家グレンド等整備用圧雪車の購入についての議案2件が上程され、それぞれを総務、産業文教委員会に付託し、審査を行いました。

## 7月臨時会

審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採決した結果、いずれも全員異議なく同意しました。

### 人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員のうち、3人

佐藤 静子氏  
中島 幾子氏  
村山 永氏

の任期が9月30日で満了することに伴い、次の方の推薦について全会一致で同意しました。

## 請 願

9月定例会で審議された請願は、継続審査中の2件と、新たに提出された1件です。各委員会での審査結果は以下の通りです。

請 願	件 名 提 出 者	紹介議員	所 管 委 員 会	結 果
第3号 継続	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求めることについて	阿曾 隆 斉藤 栄治	産業文教	継続審査
	山形地域労働組合総連合議長 東海林良二 ほか1人			
第5号 継続	政府に対して「森友学園」、「加計学園」疑惑の速やかな真相究明と国民に対する説明責任を果たすよう求める意見書の提出に関することについて	佐藤 秀明	総 務	継続審査
	山形地区平和センター議長 小野祭樹			
第6号 新規	水道民営化を推し進める水道法改正案の成立に反対する意見書採択について	川口 充 野 誠一	環境建設	継続審査
山形地区平和センター議長 小野祭樹				

## 中核市移行検討特別委員会 視察報告

本市議会では、先進的な取り組みを行う他の自治体などへの視察を行っています。

	日程	視察地	視察項目
1班	7月4日(水) ～6日(金)	京都府京都市	京都動物愛護センター「動物愛ランド・京都」について
		滋賀県大津市	大津市保健所の運営について
		兵庫県姫路市	播磨圏域連携中枢都市圏構想について
2班	7月25日(水) ～27日(金)	愛知県豊田市	地域猫活動支援事業について
		愛知県岡崎市	保健所業務・検査施設について
		東京都八王子市	中核市移行について・中核市移行時の市の独自性の取り組みについて

### 地域猫活動支援事業について



#### 中核市移行検討特別委員会(2班)

豊田市では、猫の迷惑問題を減らす対策として、地域猫活動支援事業を行っています。殺処分や動物愛護センターでの保護猫の収容数を減らすため、活動支援の申請があった町内会とともに、猫を保護し、無料で避妊手術や去勢手術を行うもので、事業開始後、殺処分は減少し、収容数も減ってきたとのことでした。

また、去勢・避妊手術を受けた保護猫の譲渡会も行われていました。

本市でも平成31年4月に予定している動物愛護センターの開設にあたり、大変参考になるものでした。

### 人と動物が共生できる潤いのある豊かな社会の実現に向けて



#### 中核市移行検討特別委員会(1班)

「動物愛ランド・京都」は、全国初となる都道府県と政令市が共同で設置・運営する動物愛護管理施設です。人と動物が共生できる潤いのある豊かな社会の実現に向け取り組んでおり、外部の専門家の監修のもと、犬の収容から譲渡に至るプロセスとして、問題行動の修正、各犬の性質を踏まえた譲渡先の条件設定、譲渡後の飼い主へのアフターフォローなどを行う「京都方式」を確立しています。

また、京都夜間動物救急センターが併設されているほか、ドッグランでは、ネーミングライツに係る契約を締結し、ネーミングライツパートナーから犬猫の餌の無償提供などの支援も行われているとのことでした。



# 市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。9月定例会では、9月11日と12日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



## 豪雨災害に学び 防災意識の高揚を図れ

高橋 公夫 議員

**Q** 西日本豪雨での正常性バイアスによる避難の遅れは、本市でも起こり得る。早期避難意識徹底への対策はどうか。

**A** 住民の適切な避難行動につながる分かりやすい表現や伝え方に取り組みとともに、避難の重要性を呼びかけ、防災意識の高揚を図っていく。

**Q** スマートフォン向け防災アプリは非常に利便性が高い。本市でも導入してはどうか。

**A** 新たに洪水浸水想定区域となった世帯や想定区域を含む自主防災会なども、今後、

**Q** 防災行政無線などは、豪雨時の雨音で聞こえない場合があることから緊急速報メールなどに併せ、ツイッターやLINEを活用してはどうか。

**A** 情報伝達手段として効果的であるため、検討していく。

**A** 民間アプリの活用や市独自アプリの構築など、多角的視点から調査研究していく。

**Q** 洪水浸水想定区域の見直しで、新たに洪水浸水想定区域となった世帯にも、防災ラジオを配布してはどうか。

**A** 配布の対象に加えていく。

**Q** 長期に渡り障がい者の法定雇用率を不適切に水増し算定していたことは、障がい者雇用の軽視である。再発防止と信頼回復への対策はどうか。

**A** 今後は、職員の意識向上に努め、関係機関の指導のもと、制度の適切な運用に努めていく。職員採用の障がい者

### 質問者

高橋 公夫  
(市民連合山形市議員)

長谷川幸司  
(翔 政 会)

齋藤 淳一  
(緑 政 会)

中野 信吾  
(翔 政 会)

浅野 弥史  
(翔 政 会)

今野 誠一  
(日本共産党山形市議員)

川口 充律  
(市民連合山形市議員)

武田 新世  
(公明党山形市議員)

### 質問の要旨

災害対策、障がい者施策、放課後児童クラブ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス、熱中症対策 ほか

西日本豪雨からの教訓、ラグビー、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を通しての賑わいづくり、山形市政 ほか

新年度予算、人事交流、防災施策、山形駅前開発、みどりの基本計画、街づくり、山形市立商業高等学校、都市計画道路

「山寺が支えた紅花文化」日本遺産認定、高齢者外出支援事業、連携中核都市圏、山形市都市計画マスタープラン ほか

楽天野球団との連携、PFI事業、連携中核都市圏構想、西公園、子育て環境、半郷清掃工場の跡地利用、健康遊具

核兵器禁止条約、農業振興、子どもの貧困対策の推進体制

気象変化への対応、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス、交通安全対策、施策に取り組む姿勢、教育のICT化 ほか

中核市移行に併せ子どもたちの安全・安心を拡充せよ、防災・減災対策を拡充し市民の安全・安心を確保せよ ほか

●一般質問の内容を要約して掲載しています。また、議会ウェブサイトでご覧いただけます。

※ 正常性バイアス…目の前の物事が異常な状態を示しているにもかかわらず、比較的大きな状態変化がない限りは正常であるとみなしてしまうこと。



▲ラグビーフェスティバルで躍動したつや姫セブンズ



長谷川幸司 議員

## 小・中学校に早急な エアコンの整備を！



▶愛媛県西条市で導入している防災アプリ「防災情報さいじょう」

**Q** 小・中学校へエアコンを早急に整備すべきではないか。

**A** 国の平成31年度空調設備の建築計画調査に、全小中学校を追加入して提出している。現在、事業のスケジュールや財源構成などを検討しており、国の動向を見ながら、早期整備を目指していく。

**Q** 約半年と迫っている中核市移行を、どのように市民へPRしていくのか。また、出前講座の開催状況はどうか。

**A** 30年度から出前講座を開催しており、第一・第八・西山形地区、山形大学人文社会

**Q** 中核市移行により設置される保健所に、市民の長寿や健康増進に貢献するシンクタンク機能を確立することのことだが、具体策はどうか。

**A** 保健所長を中心に横断的組織を設置し、統計の解析・分析などができるよう、研修体制を整備しながら、職員育成なども積極的に図っていく。

**Q** 本市ホームページで、「防災重点ため池」の一部を掲載しているが、全て公開すべきではないか。また、洪水ハザードマップに「防災重点ため池」を記載してはどうか。

**Q** 本市の災害廃棄物処理計画の策定状況はどうか。

**A** 31年度中に策定完了を予定しており、審議会からの意見聴取や関係機関との調整を図りながら策定を進めていく。

**Q** ラグビーワールドカップや東京五輪ホストタウン交流を通して、外国人旅行者の誘客などに取り組むとしているが、具体策はどうか。

**A** 東北ビクトリーラグビーロードプロジェクトで、医療やバイオをテーマとした東北の活動を情報発信するワール

**Q** 合宿の受け入れ体制や、選手と市民の交流などは、どのように行っていくのか。

**A** ラグビーワールドカップでサモアチームが最高の状態で臨めるよう準備するとともに、学校訪問やラグビー教室開催など、市民との交流を図れるよう、組織委員会へ提案している。また、ホストタウン交流事業では、国際交流の促進、競技スポーツの振興だけでなく、本市の活性化につながるため、観光誘客による交流人口の増加やオリンピックなどに対する市民の意識の高揚などを積極的に図っていく。

枠や障がい者作業室の拡充を図り、他市の事例も参考に、より積極的な雇用を行い、信頼回復に努めていく。

**Q** 恵光園の利用者も入居できる新たなグループホーム設置の検討状況はどうか。

**A** 設置手法やサービス形態などの検討を鋭意進めており、引き続き設置に向けた取り組みを進めていく。

**Q** 国は平成31年夏までに、全ての公立小・中学校へのエアコン設置の予算措置を図る方針であるが、整備計画の前倒しは検討しているのか。

**A** 国の平成31年度空調設備の建築計画調査に、全小中学校を追加入して提出している。現在、事業のスケジュールや

科学部行政学ゼミ、県都山形北部開発促進協議会、山形駅前クラブで開催している。今後も広報やホームページなどでの呼びかけを継続していく。

**Q** 地元とのワークショップで避難経路や避難場所などを決定後、早急に作成・公表していく。また、洪水ハザードマップへの記載は、改訂時を指し取り組んでいく。

**Q** 放課後児童支援員の事務仕事が増えている。市が事務補助員を雇い上げ、各クラブに配置してはどうか。

**A** 人員配置以外の方策もあると考えるため、負担軽減となる工夫改善を検討していく。

**Q** 保育士不足を、放課後児童クラブと保育所の共通課題と捉え、保育士確保施策の対象に放課後児童クラブも加えてはどうか。

**A** 放課後児童クラブにも適用するよう、制度の拡充を国や県に働きかけていく。また、さまざまな機会を捉え、放課後児童支援員の確保に向けた広報などに努めていく。

※ 恵光園…本市総合福祉施設「まんさくの丘」に設置されている、日中サービスを提供する生活介護事業所。



## 平成31年度予算編成の 基本方針と中心となる事業は

齋藤 淳一 議員

**Q** 市長の任期最後となる平成31年度の予算編成に係る基本方針と、中心となる事業はどのようなものか。

**A** 発展計画の最終年度であり、中核市として最初の年度であるため、中核市関連の施策をはじめ、財政の健全性堅持に努めながら、健康医療先進都市の実現に向けた取り組みを、一層加速していく。



▲旧ビブレ跡地の利用計画を積極的に示す

**Q** 災害時に逃げ遅れた方の捜索や避難施設への誘導、医療品の運搬に、ドローンを積極的に活用してはどうか。

**A** 29年度に、測量関係団体

とドローンを活用した災害時応援協定を締結している。災害発生時の活用について、他都市の実績や実験結果などを参考に調査研究していく。

**Q** 旧ビブレ跡地の再開発は、土地の利用計画を積極的に示し、地権者の理解を得るべきだと思いがどうか。また、山形駅前公共地下道の再活用も、早急に検討すべきではないか。

**A** 中心市街地活性化戦略本部におけるグラウンドデザインの中で、具体的な戦略プロジェクトを検討し、土地利用の方針を積極的に示していく。また、山形駅前公共地下道は、旧ビブレ跡地の再開発の動向を見極めながら、一体的な活用方法を検討していく。

**Q** 街の拠点や軸となる、み

どりをつくるため、鎮守の森の保全を後押ししてはどうか。

**A** 地域のシンボリックな樹木などは保存樹に指定し、支援している。現在策定している景観計画では、景観上重要な樹木を景観重要樹木に指定し、維持・保全・継承を図ることとしている。今後、支援を活用しながら、市民とともに保全と継承に努めていく。

**Q** すずらん街のオフィス誘致型の再開発事業は、どのような方法で実現を図るのか。

**A** 中心市街地活性化プロジェクト本部と商店街組合や、地権者との勉強会を行っており、商店街の若手経営者や地権者で検討委員会を立ち上げる予定と聞いている。今後も、意見交換を行い、国や県と連携し、支援策を提案していく。

**Q** 山形商業高校への単位制導入の検討状況はどうか。

**A** 新高等学校学習指導要領を基に、校内の教育課程検討委員会を中心に研究・検討しており、31年度末までに単位制の新教育課程を編成し、34年度からの導入としている。

**Q** 都市計画道路美畑天童線の山形西高校から国道348号までの渋滞緩和や歩行者の安全確保について、今後の対応をどう考えているのか。

**A** 国道348号の事業実施を重要要望事業に位置付け、県に対し、早期着手を要望している。市道部では、28年度に渋滞対策として、暫定右折レーンを設置しているが、今後は、歩行者の安全対策に、歩道の連続性の確保などを検討していく。



## 日本遺産から 世界遺産登録へ！

中野 信吾 議員

**Q** 「山寺が支えた紅花文化」の日本遺産認定で、山寺の世界遺産登録へのハードルを一つ越えた。山寺には物語の題

材が数多くあり、県内の紅花文化との融合で、より魅力的な物語ができるのではないか。

**A** 世界遺産登録は、県にも相談しながら情報収集を行い、

進め方を研究していく。また、新たな物語は、「山寺と紅花」推進協議会の取り組みを通して、さらに魅力を高めて発信していく方策を探っていく。

**Q** 世界遺産登録を目指す上で、山寺のインフラ整備は不可欠である。列車の増便や山寺街道の拡幅整備をJRや県へ働きかけ、無電柱化、消雪

道路の整備を進めてはどうか。

**A** 仙山線の増便は、平成30年度作成予定のプロジェクト方針に基づき、JRへ働きかけていく。主要地方道山形山寺線は、県に早期整備を要望し、無電柱化は、整備計画区間の予備調査を行い、事業採択に向けて準備を進めていく。

**Q** 楯山地区の都市計画マ

ス

**A** 仙山線の機能強化は、関係機関と連携して、さまざま

※ 鎮守の森…神社に付随して境内やその周辺に、神殿や参道、拝所を囲むように設定・維持されている森林。





▲デイキャンプでにぎわう西公園のかまど



浅野 弥史 議員

## 半郷清掃工場の早期解体と跡地利用の検討を



▲日本遺産に認定された「山寺が支えた紅花文化」

Q 楽天野球団とパートナー協定を締結したが、今後、どのような周知や、連携による取り組みを考えているのか。

A 跡地利用については、地域からスポーツ施設整備の要望がある。まずは、跡地利用に必要な土壌調査を行い、市全体としての有効な利用方法を、地域の方の意見を聞きながら検討していく。

Q 半郷清掃工場は、エネルギー回収施設川口の供用開始に伴い、稼働を停止し解体されるが、解体後の跡地利用の検討状況はどうか。

A 半郷清掃工場は、エネルギー回収施設川口の供用開始に伴い、稼働を停止し解体されるが、解体後の跡地利用の検討状況はどうか。

Q 平成31年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、市の財政負担をどのように試算しているのか。

A 野球を通じた交流活動やスポーツの振興と青少年の健全な育成に貢献できる活動を連携して進めていく。また、実施可能なPR方法を、楽天野球団と協議しながら、周知に努めていく。

Q 西公園にパークPFI制度を導入し、入浴施設を併設してはどうか。

A パークPFI制度の導入を目指し準備を進めている。また、隣接する山形パークینگエリアにスマートインターチェンジの設置が見込まれることから、入浴施設の実現性を調査研究していく。

Q 市南部の児童遊戯施設の要求水準書に、ユニバーサルデザインの遊具や液晶コンテンツなどの遊具の設置を盛り込んでどうか。

A 費用の試算なども行いながら、要求水準書に盛り込む内容についても検討していく。

Q 市南部の児童遊戯施設は、重度障がい児も遊べる遊具や、視覚に訴えるデジタル遊具などを設置してはどうか。

A あらゆる子どもたちが可能な限り、仲良く一緒に遊べるユニバーサルデザインの遊具や、五感に刺激を与える機器などの設置も検討していく。

Q 健康増進を図る場として、各地区の公園に健康遊具を整備してはどうか。

A 公園整備などの際は、市民の健康寿命を延ばすための環境づくりに向け、地元ニーズや利用者の意見を参考に、健康遊具の設置を積極的に進めていく。

Q 子育て応援都市宣言を行い、本市の子育て支援を広く発信してはどうか。

A まずは、待機児童の解消など、子育て支援施策の着実な推進を優先していく。

※ パークPFI…公募設置管理制度。園路、広場などの整備を一体的に行うことを条件に、都市公園内において飲食店、売店などの公園施設の設置・管理を行う民間事業者を公募により選定する制度。

な施策を実施し、道路整備は、現在実施中の市道楯山停車場立谷川線整備と併せ、楯山駅北側へのロータリー機能設置を進めていく。これら施策の効果により、宅地需要が増加した場合、十文字地区などの宅地開発も調査研究していく。

Q 中核市移行後の連携中枢都市圏は、現在、定住自立圏を構成している3市2町で具体的な連携事業を協議し、その上で他の3市4町と協議することとしているが、どのような規模を目指しているのか。

Q 近年の気象状況を考慮した洪水ハザードマップの見直しを考えているのか。

Q 現在の高齢者外出支援事業は、路線バスが通っていない地域の多くの方が利用できない状況のため、タクシー券との選択制にしてはどうか。

※ 日本遺産に認定された「山寺が支えた紅花文化」



## 農業振興と 子どもの貧困対策を巡れ

今野 誠一 議員



▲ソーラーシェアリングへの支援で地域活性化を

**Q** 国連の「家族農業の10年」は、持続可能な農業として家族農業を地域の農業政策の中心に位置付ける活動である。本市は、このような世界的な流れをどう捉えているのか。

**A** 本市の農業戦略推進上、大規模・集約化だけでなく、小規模・家族農業への支援も重要と考えている。今後、山形市農業戦略本部でさまざまな施策を検討し、より良い農業振興を図るよう努めている。

**Q** 新規就農者が営農継続できよう、総合的・体系的な

支援策を工夫し、長い目で育てていくための取り組み強化が必要と考えるがどうか。

**A** 就農後5年目以上の農業経営を確立するため、平成30年3月、新たに山形市新規就農者受入協議会を設置し、相談支援の体制を整えている。さらに、10年をめどに営農継続できるよう、協議会が一体となって、より充実した取り組みを実施していく。

**Q** ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）は、農地を活用した発電方式である。農家の経営改善策の一つとして、また、後継者の確保・農村地域の再生策に、設備投資への支援を検討してはどうか。

**A** ソーラーシェアリングは、売電による安定した年収が見込めることから、農業経営の

安定化の一助になると考えている。支援については、積雪などの課題もあるため、今後、農業戦略本部会議において調査研究していく。

**Q** 大郷地区の山形ジャンクシヨンの内や、その周辺農地の活用により、ソーラーシェアリングによる地域活性化のモデルを作ってみてはどうか。

**A** 周辺農地の活用については、地元住民団体から、大規模施設設置などの要望も聞かれている。本市としても、議員の提案も含めて、地区の方と継続して活用策の協議を進めていく。

**Q** 兵庫県明石市では、子どもの貧困対策として、具体的な支援を定めた「明石市子ども総合支援条例」を制定して

いる。本市でも、中核市移行を契機に子ども総合支援条例を制定すべきと思うがどうか。

**A** 本市では、発展計画の重点政策に「総合的な子育て環境の整備」を掲げ、その充実を図っている。今後、他市の事例を参考にしながら、子ども・子育て会議での意見交換など、条例制定の必要性を検討していく。

**Q** 核兵器廃絶に向けて国際情勢が変化する中でも、日本政府は核兵器禁止条約に参加しない姿勢であるが、平和都市宣言を掲げる本市として、どのように捉えているのか。

**A** 政府は、核保有国と非核保有国の双方が参加しなければ現実的・実践的でないという意味で、条約に参加をしなかったものと理解している。



## 定期巡廻・随時対応型訪問 介護看護サービスへの支援を

川口 充律 議員

**Q** 利用者の伸び悩みにより、

定期巡廻・随時対応型訪問介護看護サービス事業者が、事業廃止を検討しなければなら

なくなつたことをどう受け止めているのか。

**A** 市内に泊りが可能な事業所が多く、在宅で介護を受けて生活を継続することに対す

る意識や、理解が進んでいないことなどが要因であると受け止めている。高齢者が、住み慣れた地域で生活を継続していくために必要なサービスであり、今後も必要な支援をしていく。

**Q** 在宅における介護・看護の提供に関わる体制の構築を、具体的にどう進めていくのか。

**A** 市医師会に設置した在宅医療・介護連携室を中心に、医療と介護に関わる多職種で検討を重ね、入退院時に必要な視点や流れをまとめた支援フローを作成し、普及に努めている。今後も在宅医療と介護サービスの切れ目のない一体的な提供体制構築に向け、関係機関などと議論しながら、必要な施策を検討していく。

**Q** 熱中症予防に、生活保護世帯や高齢者世帯へエアコン購入費用を支給してはどうか。

**A** 生活保護世帯に購入費用支給制度を周知し、要件該当者へ支給していく。その他の世帯は住宅リフォーム総合支援事業の要件工事とエアコン設置工事を一緒に実施することで補助対象となっている。また、ひとり暮らしの高齢者



▲児童・生徒の安全・安心の拡充を



武田 新世 議員

子どもたちと市民の安全・安心を確保し、  
中核市のトップランナーを目指せ！



▲進む学校教育のICT化

**Q** 児童虐待など深刻な事件を鑑み、児童相談体制の充実を図るべきと考えるがどうか。

**A** 現体制から子ども家庭総合支援拠点への移行を検討していく。また、児童相談所を開設する予定はないが、相談体制の充実を検討していく。

**Q** いじめを防ぎ、児童生徒の安全な学習環境の確保や教職員の相談体制を充実させるため、スクールロイヤーを導入してはどうか。また、中核

を中心に、福祉関係者や地域による声かけなどの熱中症予防対策を引き続き行っていく。

**Q** 南沼原小学校新校舎の供用開始時期を明示し、歩道橋の増設などの安全対策を、県に要望してはどうか。

**A** 新校舎の供用開始までの整備を、継続して県に要望していく。なお、4方向の右折

**Q** 児童虐待など深刻な事件を鑑み、児童相談体制の充実を図るべきと考えるがどうか。

**A** 現体制から子ども家庭総合支援拠点への移行を検討していく。また、児童相談所を開設する予定はないが、相談体制の充実を検討していく。

**Q** いじめを防ぎ、児童生徒の安全な学習環境の確保や教職員の相談体制を充実させるため、スクールロイヤーを導入してはどうか。また、中核

レーンと横断歩道のカラー化による安全対策を県で実施する予定である。

**Q** スマートフォンやインターネットの有害性が問われている中、学校教育のICT化をどう捉えているのか。

**A** ICT活用能力は、これからの社会を生き抜く上で必要不可欠であるが、現在のと

**Q** SNSを活用した、いじめ・自殺相談窓口を開設すべきと考えるがどうか。

**A** 国や県と連携しながら、引き続き調査研究していく。

**Q** 小学校のエアコン設置計画を前倒しして、早期に全校へ配置すべきではないか。

**A** 事業のスケジュールや財源構成などを検討しており、国の動向を見ながら、早期整備を目指していく。

ころ、紙の教科書に取って代わるものではないと考えている。児童生徒が、家庭でスマートフォンやインターネットをどの程度使用しているか把握は難しいが、情報モラル教育やネット被害、ディスプレイを長時間見続けることによる健康被害なども指導していく。

**Q** 訪日外国人が増加傾向に

**Q** 一般家庭の塀も倒壊の可能性がある場合、早期の改修・撤去が求められる。住宅リフォーム総合支援事業の募集枠を拡大し、ブロック塀改修の必要性をさらに周知すべきと考えるがどうか。

**A** 平成31年度に向けて対象工事の追加など、補助の拡大を検討していく。また、ブロック塀の安全点検について、さらなる周知に努めていく。

**Q** 災害時の情報伝達手段として、WEB版防災マップを導入してはどうか。

**A** 山形市地図情報でさまざまな防災情報を発信している。機能の充実を図り、より多くの方に活用してもらえよう周知に努めていく。

**Q** 消防演習や水防訓練に参

ある中、救急業務でも医療関係通訳者の配置などが必要と考えるがどうか。

**A** 外国人からの通報時は、通訳オペレーターを交えた三者通話システムで対応している。また、救急車にタブレット端末を導入し、消防庁開発の多言語音声翻訳アプリを使用し、音声と画面の文字で対応している。

加する消防団員へ、熱中症対策を実施すべきではないか。

**A** 開催時期や訓練時間の見直し、暑さ指数による開催判断など、より安全確保に配慮したものとなるよう、具体的に検討していく。

**Q** 66歳以上を対象とした高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の独自助成を継続すべきと考えるがどうか。

**A** 国の動向を注視しながら、必要に応じて独自助成を検討していく。

**Q** 本市でも、スマートフォンアプリを使用した市民からの通報による道路の老朽化対策を実施してはどうか。

**A** 市民と行政が協力し、正確で幅広い情報が得られる連絡体制を検討していく。

※ スクールロイヤー…学校で起こるいじめや保護者とのトラブルなどを法的に助言・解決する弁護士のこと。

魅力あふれる山形市を目指して

# 議員と意見交換をしませんか？

9月定例会の審議過程や結果を市民の皆さまへ分かりやすくお伝える「議会報告会」を開催します。

この報告会では議会を知ることができるほか、魅力あふれる山形市を作り上げていくために市議会議員と意見交換ができます。

今年度は8カ所のコミュニティセンターで開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。

## 《議会報告会》

期間：11月6日(火)・11月13日(火)

時間：19時～20時30分（18時30分より受付）

内容：9月定例会の議会活動報告です。



※やまがた市議会報みちしるべ（本号）をご持参ください。

月 日	会 場	出 席 議 員
11月6日(火)	南沼原コミュニティセンター	◎武田 新世(総務) ○仁藤 俊(環境建設) 高橋 昭弘 高橋 公夫 伊藤 香織 齊藤 栄治 菊地健太郎 斎藤 淳一 渡邊 元 議長
11月13日(火)	樫沢コミュニティセンター	
11月6日(火)	明治コミュニティセンター	◎田中 英子(厚生) ○川口 充律(総務) 松田 孝男 小野 仁 今野 誠一 石澤 秀夫 須貝 太郎 尾形 源二
11月13日(火)	東沢コミュニティセンター	
11月6日(火)	滝山コミュニティセンター	◎伊藤美代子(産業文教) ○渋江 朋博(厚生) 阿曾 隆 丸子 善弘 長谷川幸司 折原 政信 鈴木善太郎 遠藤 吉久 副議長
11月13日(火)	高瀬コミュニティセンター	
11月6日(火)	南山形コミュニティセンター	◎武田 聡(環境建設) ○浅野 弥史(産業文教) 佐藤 秀明 中野 信吾 佐藤亜希子 遠藤 和典 加藤 孝 斎藤 武弘
11月13日(火)	大郷コミュニティセンター	

※どの会場でも参加できます。

◎…常任委員会委員長 ○…常任委員会副委員長

「暑さ寒さも彼岸まで」言葉の通り、今夏の日本列島を襲った猛暑は、赤い彼岸花が咲く頃に肌寒い気候となり急速に秋に突入いたしました。今は初雪を待つ季節となり、平成最後の冬の足音が聞こえております。

市議会9月定例会においては、平成29年度の決算と30年度の補正予算の審議を行いました。29年度の成果や課題を31年度の市政に反映できるよう、積極的な議論が行われました。今後も市民目線の行政が行われるようチェックしてまいります。

これから寒さが厳しい季節となりますが、市民の皆さまにおかれましては健康に十分ご留意くださいませ。

議会報委員 浅野 弥史

## 編集後記

### スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。  
お気軽にご活用ください。



### ウェブサイト

山形市議会 中継

で 検索